

漁業×農業の6次産業化に取り組むゲイトとホトが包括連携協定を締結 ～持続可能性を迫及する新しい企業連携のカタチで顧客体験の拡大へ～

漁業や水産加工業に取り組み、生産地と消費地の相互理解を深める株式会社ゲイト(本社:東京都墨田区、代表取締役CEO:五月女圭一、以下ゲイト)と、農業の6次産業化に幅広く取り組む農業生産法人 ホト(本社:山梨県山梨市、代表取締役:水上篤、以下ホト)は包括連携協定を締結しました。

3次→2次→1次の順に展開したゲイトと1次→2次→3次の順に展開したホト

三次産業の飲食を主たる事業にしていたゲイトは、衰退する漁業への危機感から、定置網漁に参入しました。サプライチェーン構築に取り組み、6次産業化を推進すると共に漁業と加工プロセスを体験プログラムとし、海に寄り添い、生産地と消費地の懸け橋となる努力をして参りました。

一方、農業に取り組むホトは、大地と太陽に寄り添いながら農業の新たな価値を生み出すべく、体験農園やアミューズメントパーク化や、日本一の空き家率の地域にて、古民家をリフォームし飲食業をすすめるなど、次々に事業を仕掛けて参りました。

両社はこれまでも生産地ファーストをコンセプトに顧客の体験価値を高めるための体験プログラム開発や機械化・自動化の推進など協力体制を組んできました。これからは協力体制がより強くなります。

Withコロナ社会へ向けた構造改革

新型コロナウイルス感染症拡大の影響で世界および日本の産業の在り方が大きく変化しました。コロナショック前から、両社は共に、6次産業化と自社物流のサプライチェーンを独自に構築してきました。既存産業の変革タイミングの今こそ、さらに連携を強めようという結論に達し、包括的連携協定の締結に至りました。事業の持続可能性を高めることで、顧客に豊かな食を生み出す歴史や自然の価値をより高め提供し、持続可能な地域づくりに向けて尽力して参ります。

今回の包括連携協定による推進予定のプロジェクト

- ・ホトのサテライトオフィスを三重県に設置
- ・一次産業(漁業と農業)における顧客体験プログラムの開発と共有化
- ・サプライチェーンの可視化
- ・動産(エンジン、加工設備など)の修復整備等の内製化
- ・バックオフィスの統合
- ・連携企業グループの形成から新ビジネスの創出
- ・農業体験、漁業体験を主としたスクール、スタディツアー、大人の学び直し等の教育関連
- ・完熟屋やくろきんのサプライチェーン共有の飲食店ライセンス販売
- ・遊びづくりからまちづくりへ

株式会社ゲイト

本社:東京都墨田区菊川1-13-8五月女ビル6F

代表:五月女圭一 設立:1999年1月

URL :<http://gateinc.jp/>



五月女圭一

株式会社ゲイト 代表取締役 五月女圭一



ゲイトが水産に取り組む三重県尾鷲市須賀利町(にほんの里100選)

企業は社会の公器という信念のもと、自立的かつ持続可能なビジネス構造への改革を進めている。2017年には高齢化・後継者不足が進む漁業の現状に危機感を抱き、三重県の熊野灘で定置網漁や水産加工に参入。生産地と消費地の相互理解を深めるための六次産業化を推進。水産業による東京との垂直統合の実現と、漁業水産起点の根本的な地域問題解決に取り組む。

農業生産法人 株式会社ホトト

本社：山梨県山梨市牧丘町袖口1010

代表：水上篤 設立：2010年2月

URL：<https://hototo.jp/>



水上篤



ホトトが農業に取り組む山梨県山梨市牧丘町(にほんの里100選)

農業生産法人 株式会社ホトト 代表取締役 水上篤

1978年山梨県山梨市牧丘町生まれ。ブドウ農家である山梨県山梨市の実家からニューヨークへ渡り、建築デザイナーとして活躍。

帰国後、実家のブドウ園を拠点に事業展開し、週末農業実践スクールホトトを開校。卒業生たちともつながっていけるように農業生産法人も立ち上げた。現在は、山梨県立大学で講義を行う等、教育と地域再生に力をそそいでいる。

本件問い合わせ先

広報担当：福田 TEL:03-6666-0075 mail: info@gateinc.jp